

附録 ソフトのインストール方法

[附録 A] 「Java SE 8」のインストール

[附録 B] 「Spring Tool Suite」のインストール

[附録 C] 「Lombok」のインストール

[附録 D] 「curl」のインストール

附録 A 「Java SE 8」のインストール

「Java SE Development Kit (JDK) 8」をダウンロードします。

ここでは執筆時点で最新の「Java SE 8u102」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを使ってかまいません。

[1] Oracle の「JDK ダウンロード ページ」(<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>) にアクセスして、JDK の「Download」ボタンを押してください。

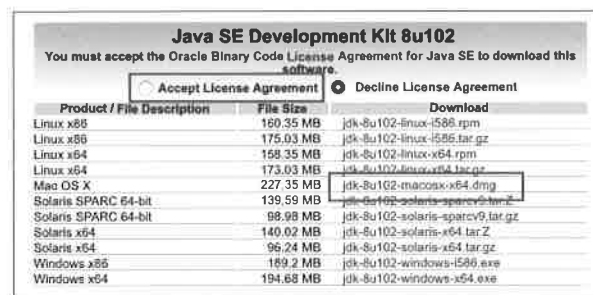


「Download」ボタンをクリック

[2] 「Accept License Agreement」にチェックを入れて、実行ファイルをダウンロードします。

ご利用のプラットフォームに合わせてダウンロードファイルを選択してください。

ここでは「MacOS X」を選択します。



「Accept License Agreement」にチェックを入れて、実行ファイルをダウンロード

[附録 A] 「Java SE 8」のインストール

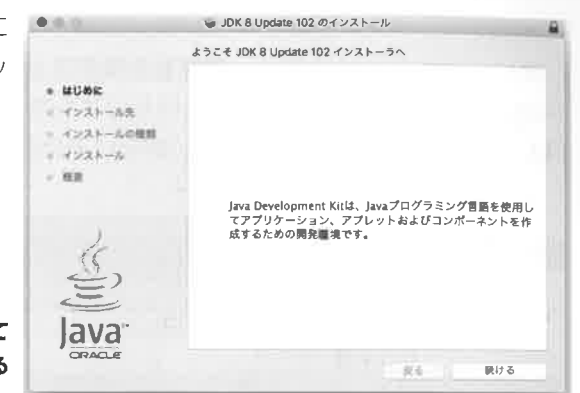
*
 以降では「MacOS X」の例で説明します。

[3] ダウンロードした「jdk-8u102-macosx-x64.dmg」をダブルクリックして、「JDK 8 Update 102.pkg」(箱のアイコン)をダブルクリックしてください。



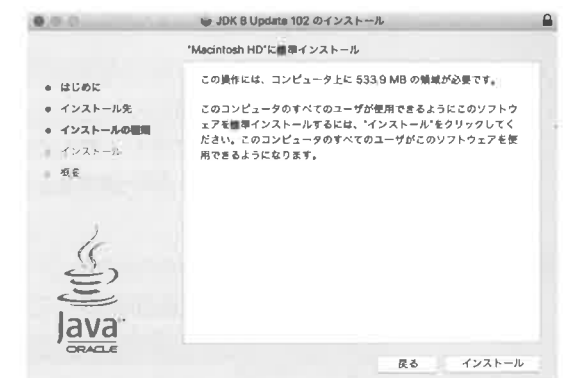
「JDK 8 Update 102.pkg」をダブルクリック

[4] この先に現われるダイアログに対しては、「続ける」をクリックし続けてください。



「続ける」をクリックしてインストールを進める

[5] 次に、「インストール」をクリックしてください。



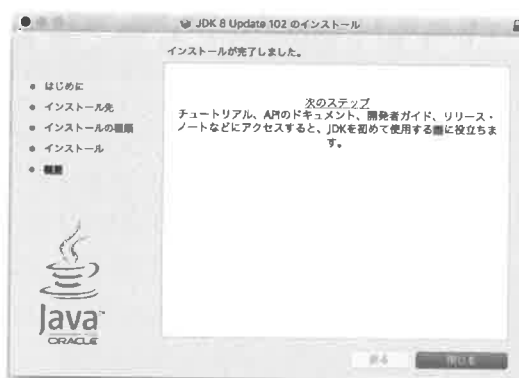
「インストール」をクリック

[6] OS ユーザーのパスワード入力が必要になります。パスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」をクリックしてください。



パスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」をクリック

- [7] 最後に、「インストールが実行されました」と表示されたら、「閉じる」をクリックしてください。



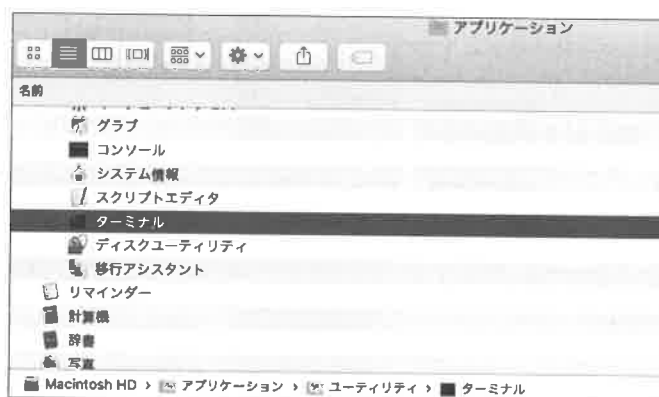
最後に、「閉じる」をクリック

これで JDK のインストールが完了しました。

*

次に、JDK を使うために、環境変数の設定を行ないます。

- [1] 「アプリケーション」→「ユーティリティ」から「ターミナル」をダブルクリックして起動してください。



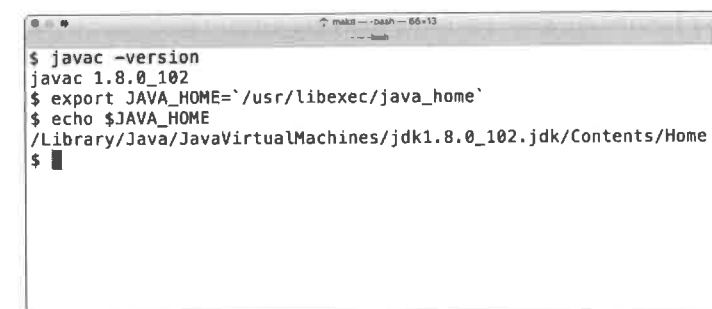
「ターミナル」を起動

- [2] 「ターミナル」で「javac -version」コマンドを実行して、インストールした Java のバージョンと一致するか確認してください。



Javac のバージョンを確認

- [3] 次に「export JAVA_HOME=/usr/libexec/java_home」^[1]を実行して、環境変数「JAVA_HOME」を設定してください。「echo \$JAVA_HOME」を実行することで実際の「JAVA_HOME」の値が出力されます。



JAVA_HOME の設定

以降はこの「ターミナル」を使って作業します。

毎回「JAVA_HOME」を設定しなくてもすむように、以下のコマンドで「(ホームディレクトリ)/.profile」に「JAVA_HOME」の設定をしておくといいいでしょう。

```
$ echo 'export JAVA_HOME=/usr/libexec/java_home' >> ~/.profile
```

附 録 B

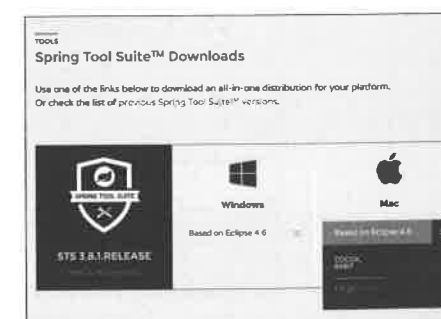
「Spring Tool Suite」のインストール

「Spring Tool Suite」^[2](以降、「STS」と略す)は Java の統合開発環境である「Eclipse」を「Spring Framework」で開発しやすいようにカスタマイズしたものです。本書では「STS」を利用してアプリケーションの開発を行ないます。

ここでは執筆時点で最新の「3.8.1RELEASE」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを使ってください。

- [1] 「STS」の「ダウンロードページ」(<http://spring.io/tools/sts/all>)にアクセスして、ご利用のプラットフォームに合ったダウンロードリンクをクリックし、ダウンロードします。

ここでは「MacOS X」向けの「ZIP ファイル」(Based on Eclipse 4.6)を選びます。



プラットフォームに合った
ダウンロードリンクをクリック

[1] Windows の場合は環境変数 Java_HOME に「C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_xxx」(xxx はインストールしたバージョン)を設定してください。

[2] <http://spring.io/tools/sts>

[2] ダウンロードした「spring-tool-suite-3.8.1.RELEASE-e4.6-macosx-cocoa-x86_64.zip」を展開します。

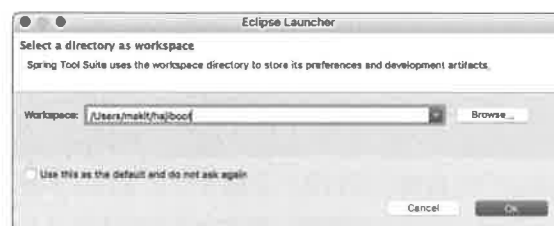
[3] ホームディレクトリにある「sts-bundle/sts.app」をダブルクリックします。



「STS.app」をダブルクリック

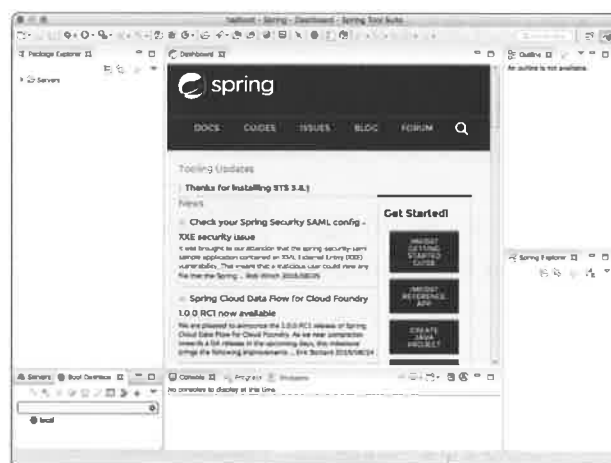
[5] 初回起動時はワークスペースの位置を聞かれます。
「(ホームディレクトリ)/hajiboot」を指定して、「OK」をクリックします。

このとき「Use this as the default and do not ask again」にチェックを入れておいたほうがいいでしょう。



「(ホームディレクトリ)/hajiboot」を指定

[6] 以下のように、「STS」が起動したら、成功です。



「STS」が起動した

附録 C 「Lombok」のインストール

本書では「バージョン 1.16.8」を扱います。「Lombok」をインストールする前に「STS」は終了しておいてください。

[1] 「Lombok」の「公式サイト」(<http://projectlombok.org/>)にアクセスし、右上の「Download!」をクリックします。



「Download!」をクリック

[2] 「lombok.jar」をクリックするとダウンロードが始まります。

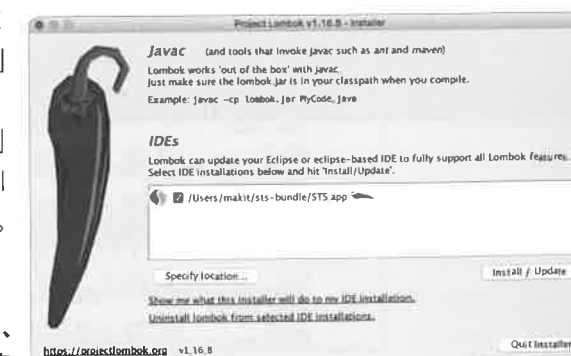


「lombok.jar」をクリック

[3] ダウンロードした「lombok.jar」ファイルをダブルクリックすると、インストーラが立ち上がります^[3]。

インストーラが自動的に「STS」を認識し、「IDEs」の下に表示します。

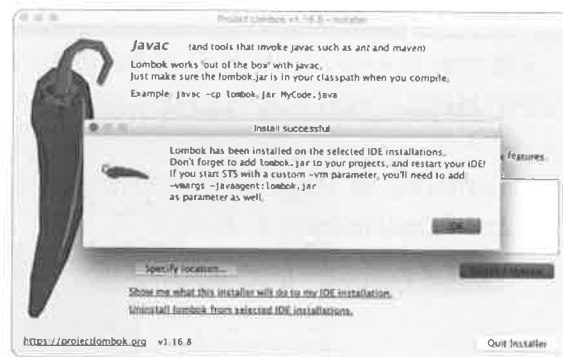
インストール対象の「STS」にチェックを入れて、「Install/Update」をクリックします。



チェックを入れて、
「Install/Update」をクリック

[3] インストーラが起動しない場合は、「ターミナル」でダウンロード・フォルダに移動し、「java -jar lombok.jar」を実行してください。

- [4] インストールが完了したら、ダイアログが現われるので「OK」をクリックして、インストーラを終了してください。



「OK」をクリック

これで「STS」で「Lombok」が使えるようになりました。「Lombok」の効果は公式サイト「Demo Video」を見ると分かりやすいです。

「STS」を立ち上げた状態で、「Lombok」をインストールした場合は、「Lombok」を有効にするために再起動してください。

附 録 D

「curl」のインストール

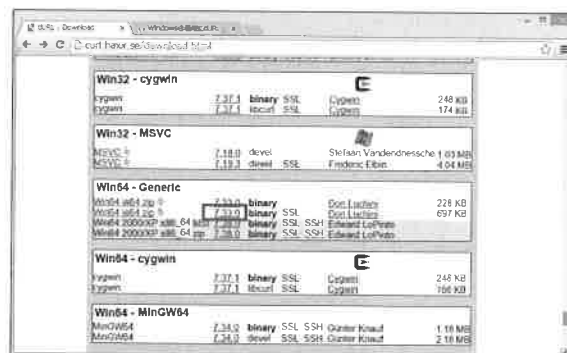
コマンドラインで使える「HTTP クライアント」の「curl」をインストールしましょう。

Mac OS X の場合は初めからインストール済みで、「ターミナル」で「curl」コマンドが利用可能です。

Windows の場合は、インストールが必要です。

ここではバージョン「7.33」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを使ってください。

- [1] 「curl」の「ダウンロードページ」(<http://curl.haxx.se/download.html>)にアクセスし、「Win64 - Generic」^[4]までスクロールします。
その中の「Win64 ia64 zip」に対応する「バージョン番号」をクリック。

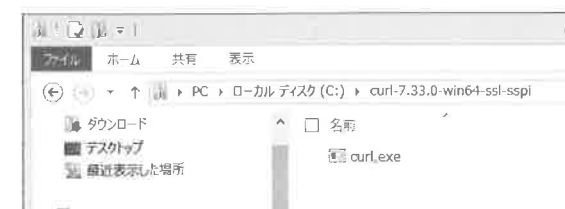


「Win64 ia64 zip」に対応する「バージョン番号」をクリック

[4] Windows の「32bit OS」を使っている場合は、「Win32 - Generic」のものをダウンロードしてください。

- [2] ダウンロードした「curl-7.33.0-win64-ssl-sspi.zip」を「C:」ドライブ直下に展開します。

「C:¥curl-7.33.0-win64-ssl-sspi」フォルダが、以下の構成になっていることを確認してください。

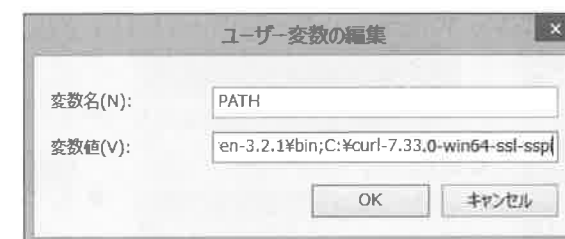


「C:¥curl-7.33.0-win64-ssl-sspi」フォルダの構成

- [3] これまでと同様に、環境変数「PATH」に「curl」コマンドのパスを追加します。

変数名	PATH
変数値	%JAVA_HOME%¥bin;C:¥apache-maven-3.2.1¥bin;C:¥curl-7.33.0-win64-ssl-sspi

を設定します。



環境変数「PATH」にパスを追加

- [4] 適切にインストールされているか確認しましょう。
「コマンド・プロンプト」を立ち上げて、「curl -V」を実行。



「コマンド・プロンプト」で「curl -V」を実行

インストールしたバージョンが出力されているかを、確認してください。